

# もみの木ニュースレター



## もみの木ログハウス開所式(12月23日)

近くの空き家を借りて仮始動していたステーション「もみの木」が、12月23日いわき市中央台高久に開所した。フィンランドから“震災復興のために”取り寄せたログハウス。サンタクロースも激励の手紙をそえてくれた。



開所式は地元仙台教区平賀徹夫司教、東京教会管区の震災担当幸田和生補佐司教、谷大二司教、近隣の教会信徒、さいたま教区のスタッフなど約80人が集まった



いわき教会のチェスワフ神父  
乾杯の挨拶

## 湯本ステーション開所ミサ(1月8日)

2011年4月3日から2012年1月8日まで、湯本教会司祭館をお借りし、ボランティアの拠点として、水や物資支援、炊き出しの準備を行ってきた。日曜日は、湯本教会のミサもおこなわれた。



閉所式・ミサには、いわき・湯本・小名浜教会の信徒の方と共に今までの支援活動を協力できたことを感謝、これからの復興を祈った。

さいたま教区を中心に毎週続けて39グループ、約150名のボランティアが派遣され、炊き出しのグループも10グループ以上が、いわきを訪れた。信徒の方々の、交流と分かちあいはじまった。



福岡キャンパスから冬休みの神学生たちが、家具などの準備をし、訪れるたちを迎えた。

お正月もオープン。  
子供たちも顔をのぞかせた。



ログハウスの中は、ペレットストーブのおかげで優しい心に。天井には、ファンが回っているので二階とロフトも暖かい。

## これからのいわきステーション「もみの木」

「もみの木」カフェの開店時間 10:00~16:30

「もみの木」のセンター長・丹弘さん(川越教会)と現地のスタッフ三人が交代で美味しいコーヒーを入れます。

自慢の「もみの木」ブレンドは、東京の間屋から届く。春バージョンのブレンドもそろそろ入荷予定。

今までの傾聴ボランティア「みみ」の方々の活動も継続。

毎週 第一日曜日 地域自治体の朝市開催

定期的に子供達の学習支援や絵画教室なども企画



「もみの木」の周りには約千所帯の仮設がある

檜葉、浪江、広野からの原発避難者の方々も多い

ボランティアは、二階の二部屋で宿泊



← 1月8日の朝市野菜が届いた時の様子  
道路の前は、第一仮設がある。これからは、「もみの木」の庭で自治会の方々と協力していろいろなイベントを企画。暖かくなったらライブ・コンサートや多国籍料理教室も・・・

..お願い...お知らせ..

- イベントの企画は、サポートセンターへ申し込みを。
- 3月11日の午後、「もみの木」で追悼の集いを予定。